

本日ここに、令和6年第5回市議会定例会を招集いたしまして、補正予算案をはじめ、当面する市政の重要案件についてご審議をいただくわけであります。

各案件にわたります詳細につきましては、審議の過程で副市長並びに担当部課長からご説明申し上げることといたしまして、私は概要を申し上げ、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願いする次第であります。

去る10月27日に執行された第50回衆議院議員総選挙において、区割り変更後、初の選挙となった愛媛3区からは、2期目の立候補となる長谷川淳二氏が当選されました。長谷川氏は令和4年12月より総務大臣政務官を務められており、地方行政にも精通されております。また、元愛媛県副知事として、県内、とりわけ南予地域の実情をよく把握されており、今後も南予の発展により一層ご尽力いただけるものと期待しています。

一方で、今回の選挙では与党である自民党・公明党が大幅に議席を減らし、過半数を割り込む結果となりました。今回の選挙結果を受け、政治の先行きに不透明感が増しており、国と地方との関係についても改めて構築していく必要があると考えております。長谷川氏には、これまで以上に八幡浜市と国との橋渡し役をお願いしていきたいと思っております。

海外に目を向けますと、11月5日に投開票が実施されたアメリカ合衆国の大統領選挙では、共和党のドナルド・トランプ氏が民主党のカマラ・ハリス氏を破り、大統領に返り咲きました。トランプ氏は、輸入品に対する関税の引き上げなど、アメリカ第一主義の政策を前面に押し出しており、日本経済への影響なども懸念されています。

今後、国内外で政治的には大きな変化が生じることも予想されますが、本市としては国の動向や経済情勢などを充分注視しながら、市民生活に影響が大きく及ぶことのないよう適切な市政運営に取り組んでまいります。

今年も残すところ1か月を切り、ようやく寒さを感じる季節となりました。

振り返りますと、今年は、元日にマグニチュード7.6、最大震度7を記録する能登半島地震が発生し、死者・行方不明者400名以上、一部損壊を含めると約13万棟以上の建物が被害を受けるなど、未曾有の大災害となりました。市立八幡浜総合病院のDMATの派遣をはじめ、本市からも輪島市での避難所運営支援のため4回にわたり応援職員を派遣するとともに珠洲市の直（ただ）小学校へのトイレカーの提供など、被災地支援に取り組んできたところです。その後も、4月には豊後水道を震源とする地震が

発生し、本市でも震度 5 弱を記録、8 月には日向灘を震源とする地震が発生し、令和元年の運用開始以降、初めて南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されるなど、大きな地震が相次いだ年となりました。

また、地球温暖化による異常気象が常態化し、今年の夏は、猛暑を乗り越えて「災害級」と言われるほどの暑さが続きました。連日のように熱中症警戒アラートが発表される中、本市でも公共施設等をクーリングシェルターとして指定するなど、熱中症対策にも努めてきたところです。

温暖化の影響は気温上昇だけではなく、ひとたび雨が降れば集中豪雨となることが当たり前となり、梅雨前線や台風の影響により発生した線状降水帯などが全国各地で大雨被害をもたらしました。

本市では年間を通じて災害による人的被害はなかったものの、先月初めにも大雨により市道脇のがけが崩れるなど、小規模ながらも各地区で土砂災害等が発生しています。被災箇所の応急復旧工事については迅速に対応しておりますが、今後も引き続き防災・減災対策に取り組むと同時に、温暖化対策として脱炭素社会実現に向けた取り組みについても進めてまいります。

さて、本市の基幹産業である温州みかんの収穫は、今まさに最盛期を迎えています。先月 5 日には、販売促進セールスのため、東京大田市場で行われた、「JA にしうわ」が初出荷した早生温州みかんの初競りに行ってきました。

今年は、猛暑やカメムシ被害などの影響で収穫量の減少が見込まれることに加え、収穫期直前まで気温が下がらなかったことから例年より色づきも遅れ、初出荷は去年の 1 割程度と少なくなりました。ただし、品質的には糖と酸のバランスのとれたおいしいみかんに仕上がったことで、1 キロ当たりの平均単価は 392 円と「JA にしうわ」が発表した 1993 年以降の最高値を更新し、素晴らしいスタートを切ることができました。

これもひとえに、農業生産者の皆様や「JA にしうわ」関係者の努力の賜物だと思います。本市のみかんは、全国トップクラスのブランド力があり、プライスリーダーとしての地位を長く維持していますが、一方で、柑橘農家の高齢化が進み、担い手不足が課題となっています。近年では、全国的な人手不足の影響もあり、みかんアルバイトの確保も一段と難しくなっていることから、市としても収穫期労働力確保に支援を行うなど、引き続き柑橘産業をバックアップしていきます。

11 月 10 日には、今年で 11 回目の開催となる「やわたはま産業まつり」を八幡浜みなとで開催しました。毎年、温州みかんの収穫時期にあわせて開催しておりますが、産業まつりは、柑橘だけではなく八幡浜市の特産品やグルメが一堂に会するイベントとして定着してきており、市内外から約 1 万 5 千人の来場者で賑わいました。

今年は、「愛媛南予と高知のうまいもんマルシェ」として四国西南サミット加盟自治体による物産展のコーナーを設けるなど新しい試みにも取り組みました。また、二宮忠八ゆかりの地として平成25年から中学生の相互交流事業を続けている京都府八幡市からも、今回初めてブースを出展していただきました。八幡市とは今後も交流を深め、お互いの地域活性化に向けて引き続き良い関係を築いていきたいと思っています。

産業まつりと同時開催しました「第6回ダルメインWorldマーマレードアワード&フェスティバル in Japan」の表彰式では、会場に訪れた多くの観客の前で、受賞者の皆様を祝福するとともに、「マーマレードのまち八幡浜」をPRすることができました。この大会も回を重ねるごとに出品数も増え、本市の知名度の向上や柑橘産業全体の振興といった面からも意義深い大会になってきていると感じています。来年の第7回大会も本市で開催することが決定していますので、さらに工夫を重ね、産業まつりとともに八幡浜らしさを感じられる素晴らしいイベントにしていきたいと思っています。

翌日の11月11日には、四国電力跡地プロジェクトの中心事業であり、市民の関心も高かった「マクドナルド八幡浜店」が、待望のグランドオープンとなりました。

開店初日には駐車場から車があふれるほど多くのお客様でにぎわい、改めて、その反響の大きさに驚くとともに、10年ぶりに八幡浜にマクドナルドが帰ってきたことを市民の皆様に大変喜んでいただくことができたものと思います。

今回の誘致にあたっては、市長をかこむ会をはじめ様々な意見交換の場で、たくさんの市民の方から、子どもたちや若い世代が利用しやすい飲食施設を望む声をいただいていたことから、市としても最重要課題として全力で取り組んできました。そのような中、八幡浜市出身で複数のマクドナルド店を経営されている株式会社グラン・ジュテの大石社長とのご縁もあり、市の要望と大石社長の故郷へ貢献したいとの思いが合致したことで、日本マクドナルド本社との交渉も進み、今回の出店に至ったものです。

また、八幡浜店のオープンにあわせ、株式会社グラン・ジュテには、八幡浜市との包括連携協定を締結していただきました。今後、マックアドベンチャーといった教育支援プログラムの実施、イベント等への協力をはじめとした地域活性化や市民サービス向上のための取り組みを共に進めていくこととなっております。今回の出店及び連携協定の締結につきまして、ご協力いただきました日本マクドナルドホールディングス株式会社並びに株式会社グラン・ジュテの関係各位に改めて深く感謝申し上げます。

四国電力跡地プロジェクト関連では、隣接する旧松蔭保育所跡地に移転・新築を予定している八幡浜児童センターについても、9月議会で基本設計の予算を計上させていただきました。現在、小・中・高校生による「こども会議」の開催や八幡浜・保内両児童センター利用者を対象としたアンケートを実施し、新しい児童センターでどんなことを

したいか、どんな施設になってほしいかなど、こどもたちや保護者の意見も取り入れつつ、施設の概要をまとめているところです。来年度中には、旧松蔭保育所の解体工事及び児童センターの詳細設計、本体工事の予算を順次計上する予定としており、令和9年4月のセンター開設を目指し、準備を進めていきます。

また、残るホテルの誘致については、現在、興味を示している事業者と具体的な方向性などについて協議をしている段階です。現時点では、まだ結論は出ておりませんが、皆様に良いご報告ができるよう引き続き市としても努力してまいります。

それでは、今回提案の12月補正予算の主なものについて、順次ご説明します。

最初に「安全安心なまちづくり」についてです。

市が管理する市道や里道などの維持修繕については、市民からのご要望に応じて現地調査を実施し、逐次修繕を実施しておりますが、道路施設の老朽化などに伴い、年々修繕の要望も増加しており、今年度は現時点で既に年間予算をほとんど消化しています。その後も陳情や市長をかこむ会などで新たな要望をいただいておりますので、今回、予算を追加して未施工箇所解消を図ります。

次に「暮らしやすいまちづくり」についてです。

令和6年4月に成立した改正児童福祉法により、児童福祉を担う「子ども家庭総合支援拠点」と母子保健を担う「子育て世代包括支援センター」の機能を統合した「こども家庭センター」の設置が努力義務化されました。現在、本市では児童福祉については子育て支援課、母子保健については保健センターがそれぞれ担当していますが、すべての妊産婦、子育て家庭に対して一体的な支援を切れ目なく、もれなく対応するため、母子保健と児童福祉の窓口をひとつにした「こども家庭センター」を令和7年度より開設することとしています。設置場所については、八幡浜庁舎1階の子育て支援課の事務室を拡張することで、母子保健機能の一部を統合することとしており、あわせて相談スペースの設置やキッズルームの拡張を実施します。

王子の森公園内を建設候補地として、神山水源地への影響や建設工法等の調査・検討を進めてきました神山こども園については、検討を踏まえた基本設計が完了しましたので、来年度の建設工事着手に向け施設の詳細設計を行います。

次に、令和6年度末をもって閉校となる八代中学校、愛宕中学校、松柏中学校の3校については、3月下旬にそれぞれの学校において閉校記念式典を開催するほか、各学校の閉校記念事業として、記念誌の発行・記念碑の建立を予定していますので、実行委員会に対する補助金など、閉校関係の事業に必要な予算を計上します。

また、新たに誕生する八幡浜中学校の校歌については、作詞を八幡浜市出身のオペラ歌手である宮本益光氏に、作曲を同じく本市出身の愛媛大学教授の井上洋一氏にお願い

しています。お二人には、生徒たちに対して新しい校歌の作詞、作曲に込めた思いや歌唱の指導もしていただくこととしていますので、関連する費用を今回計上しています。

このほか、市長をかこむ会で、かねてより老朽化対策の要望をいただいております愛宕テニスコートの屋外トイレについて、快適に利用できるよう内装のリニューアル工事を実施します。

最後に「産業振興の取り組み」についてです。

まず水産業への支援として、赤潮等の予測不能な自然災害から経営を守る養殖共済について、共済掛金の一部を助成することにより、魚類養殖業者の経営の安定化を図ります。

次に、商工振興施策として、産業の振興や新たな雇用創出により地域活性化が見込まれる「マクドナルド八幡浜店」出店事業について、企業等誘致促進条例に基づき、日本マクドナルドホールディングス株式会社、株式会社グラン・ジュテの２者に対して企業等立地促進奨励金を交付します。

以上が、１２月補正予算案の概要であります。

この結果、

一般会計	３億６，０８９万９千円の追加
特別会計（５会計）	４，７５１万８千円の追加
<u>企業会計（４会計）</u>	<u>２億　　９８５万６千円の追加</u>
合計	６億１，８２７万３千円の追加を、ご提案申し上げるものです。

これらの財源といたしましては、国・県支出金、市債等それぞれの事業施策に対応する額を計上しています。

以上、ご説明申し上げました補正予算案等につきまして、慎重審議を賜りまして、ご賛同いただきますようお願い申し上げます。